

## <金標準、ジャクソンホールを控え金利高に抑えられた値動き・・・>



(出所：オアシス)

FOMC 議事録では「インフレに著しい上振れリスクがあり、金融政策の追加引き締めが必要になり得るとの認識を大半の参加者は引き続き示した」と記され、週間新規失業保険申請件数 23.9 万件で雇用情勢が堅調であり、フィラデルフィア連銀景況指数 12 で前回から大幅上昇を示すなど景気の底堅さが高インフレ継続観測を拡げている。また中国では碧桂園（カントリーガーデン）の発行したドル建て社債 2 本（総額 2,250 万ドル）の利払いを履行できなかった事を始め、中融国際信託会社は数千人の顧客への支払いを停止した後、厳しい監視下に置かれている。また中国人民銀行は信用リスクの高まりを受けて景気下支えのサプライズの利下げを実施し、相対的に米国債金利が上昇を示すなど、金利を生まない金価格にはマイナス要因となっている。そのため週末 25 日のジャクソンホールでパウエル FRB 議長の講演まで下値追いが続く可能性は高いと思われる。

### <テクニカル>

金標準先物の日足の MACD や RCI では、MACD は **MACD** が下げながら、**シグナル**も切り下げしており、RCI でも**短期**が下げながら、**長期**も切り下げている。特に日足は **40 日移動平均線**が位置する **8855 円**を下回るなど目先の下値である 8700 円に向けた調整安には注意が必要と思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 3,235,000 円(2023 年 8 月 21 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 89,760 円(2023 年 8 月 21 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>